

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年3月28日

計画の名称	光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち（市街地整備）		
計画の期間	平成27年度～平成27年度（1年間）	交付対象	豊川市
計画の目標			

本市の市街地は、古くから豊川稲荷の門前町として栄えてきた豊川地区を始め合併前の旧町の中心部などに旧市街地が点在し、都市基盤などの整備の遅れや中心市街地の活力の低下など、早急に取り組むべき課題がある。
 本市の将来像である「豊かな自然と歴史を守りながら、地域と行政が連携・協働し、すべての市民が安全で安心して健やかに暮らすことのできるまち」を目指すためには、こうした課題に対応する都市基盤整備事業等の実施が必要不可欠である。
 また、公園施設の長寿命化やバリアフリー化等の機能向上を計画的に実施し、子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園を目指す。
 そこで、本計画では、必要な市街地整備事業等の基盤整備を実施し、コンパクトで、「元気の出るまち」、「住みたくなるまち」豊川市を、市民と協働で目指すものである。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり（社会資本整備等）に係る市民満足度を+3.8ポイントから+4.6ポイントに増加 平成31年度までに31箇所において公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築を行い、改築が必要な公園施設の割合を80%から78%にする。 平成27年度までに7箇所の公園施設のバリアフリー化を行い、バリアフリー化を行った公園の割合を15%から20%に増加する。
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 -	最終目標値 (H27末)							
	市民意識調査の内、まちづくり（社会資本整備等）に係る市民満足度の合計を集計する。	+3.8ポイント	-		+4.6ポイント					
	改築が必要な公園施設の割合を集計する。	80%	-		78%					
	バリアフリー化を行った公園の割合を集計する。	15%	-	20%						
全体事業費	合計 (A+B+C)	416百万円	A	388百万円 (うち提案事業分9百万円)	B	0百万円	C	28百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C) / (A+B+C)	6.7%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
<ul style="list-style-type: none"> 関係各課で構成される庁内評価組織により、数値目標の達成状況や効果発現について検証及び分析を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年2月 公表の方法 都市計画課窓口及び市ホームページに掲載し公表する。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業											上段(計画)	下段(実施)			
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
1-A-1	都市再生整備計画	一般	豊川市	直接	豊川市	豊川駅周辺地区	道路、公園、土地区画整理事業等 A=208ha	豊川市						300	
														301	
1-A-3	公園	一般	豊川市	直接	豊川市	豊川市公園施設長寿命化計画	102箇所	豊川市						4	
														4	
1-A-4	公園	一般	豊川市	直接	豊川市	豊川市公園長寿命化対策支援事業	遠通公園等9箇所における 遊具等の改築	豊川市						30	
														34	
1-A-5	公園	一般	豊川市	直接	豊川市	豊川市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	豊川公園等7箇所における トイレ等のバリアフリー化	豊川市						30	
														27	
1-A-7	水環境再生	一般	豊川市	直接	豊川市	水環境創造事業(水循環再生型)	浸透トレンチ L=400m	豊川市						24	
														24	
小計													388		
													390		

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
1-C-2	施設整備	一般	豊川市	直接	豊川市		サツキ公園整備事業	A=0.3ha	豊川市						28	
合計														28		
合計														28		
合計														28		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 豊川駅東土地区画整理事業の進捗が図られ、良好な市街地が形成されつつあり、人口定着に寄与している。 都市公園の長寿命化対策及びバリアフリー化対策により、公園の利便性が向上している。 														
II 定量的指標の達成状況	指標①(市民意識調査の内、まちづくり(社会資本整備等)に係る市民満足度の合計を集計する)	最終目標値	+4.6ポイント	目標値と実績値に差が出た要因	豊川駅東土地区画整理事業や都市公園の長寿命化・バリアフリー化などの社会資本の整備により満足度は向上したが目標には至らなかった。今後は、豊川駅東土地区画整理事業や雨水浸透トレンチなどの基盤整備を推進し、満足度の向上を目指す。											
		評価値	+4.3ポイント													
	指標②(改築が必要な公園施設の割合を集計する)	最終目標値	78%	目標値と実績値に差が出た要因												
		最終実績値	78%													
	指標③(バリアフリー化を行った公園の割合を集計する)	最終目標値	20%	目標値と実績値に差が出た要因												
		最終実績値	20%													
II-2 その他の数値指標 (設定した定量的指標以外の指標)による効果発現状況	その他指標① (都市再生整備計画 豊川駅周辺地区内の駅の乗車人員)	従前値	H26: 2,024,509 人	効果発現要因	地元商店主などによる豊川稲荷門前町及びその周辺での経済活性化事業や豊川駅東土地区画整理事業の進捗に伴う駅周辺の人口増加により、本市の主要駅であるJR豊川駅及び名鉄豊川稲荷駅の乗車人員が増加し、コンパクトシティ推進による拠点の形成が進んでいる。											
		実績値	H27: 2,083,732 人													
	その他指標② (豊川駅東土地区画整理地区内の住宅戸数の増加)	従前値	H22~H26の平均: 21 戸	効果発現要因		豊川駅東土地区画整理事業の進捗に伴い住環境が整備され、建築活動が活発化しており、JR豊川駅及び名鉄豊川稲荷駅周辺でのコンパクトシティ推進による拠点の形成が進んでいる。 ※豊川駅東土地区画整理地区内の土地区画整理法76条申請の件数(地区内の移転・建替等を除く)										
		実績値	H27: 31 戸													
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)																

3. 特記事項(今後の方針等)

・第6次豊川市総合計画が平成28年度から実施されるため、社会資本整備分野における実施計画として、社会資本総合整備計画を策定し、総合計画の目標に資する事業を実施する。このため、都市再生整備計画の残りの期間は、平成28年度から始まる社会資本総合計画“光・緑・人 輝くとよかわ(基盤整備による定住・交流促進計画)”において実施し、土地区画整理事業や公園整備による拠点の形成によるコンパクトシティを推進し、豊川市立地適正化計画の具現化を図る。